

## 1 題材名

ボディパーカッションを楽しもう

教材：「手拍子の花束」

(楽しいボディパーカッション① 音楽之友社発行)

## 2 題材の目標

- ・進んでリズム活動に参加できる。
- ・仲間と協力して活動することにより、表現する楽しさを体感できる。
- ・音楽の流れにのってリズム打ちができる。

## 3 題材について

本題材は、自己表現能力やコミュニケーション能力を高め、音楽的にはリズムに対する感覚やリズムの重なりを体感することをねらいとする。友達と一緒に活動する楽しさを味わわせ、ゲームを通して動きを合わせたり、あたたかい言葉がけができるようにしたいと考え本題材を設定した。友達と気持ちを合わせて活動することで、リズムが揃ったときの喜びを味わい、リズムを通してコミュニケーションする楽しさを感じ取らせながら社会性・協調性を育てる上でも意義のある題材である。

## 4 指導にあたって

本学級は知的障害10名、情緒障害1名の計11名の学級である。素直で優しい気持ちを持った生徒が多く、困っている友達に声をかけようとする場面が見られる。反面、自己中心的な行動に出たり、想いをうまく伝えられないために、友達との関わりでトラブルがおきることもある。音楽活動では、歌うことが好きではあるが周囲の声をきいて声を出したり、みんなでよいものを創ろうという意識は低い。

本教材では、2小節単位のリズムパターンを、手拍子をしたり聴くことでつかませたい。さらに友達同士でリズムを重ねる活動を通し、自分たちの表現に合う強弱や身体動作を工夫し、体全体でボディパーカッションを楽しませるようにしたい。そのために、友達と一緒に練習することで、お互いの良さを認め合いながら、自分の表現に生かすような指導を行っていく。テンポ感や拍感の苦手な生徒を考慮し、4グループに分け、各グループを教師がサポートする形で進めていきたい。

## 5 単元の評価規準

- ・進んでリズム活動に取り組むことができる。
- ・仲間と協力して活動し、表現することを楽しむことができる。
- ・音楽の流れの中で演奏ができる。

## 6 題材の指導計画(全8時間)

- (1)「拍・拍子について知る」・・・・・・・・・・2時間
- (2)「リズムを叩く」・・・・・・・・・・3時間(本時3/3)
- (3)「リズムでアンサンブルする」・・・・・・・・3時間

## 7 本時の指導

### (1) 本時の目標

- ・グループで協力して楽しく練習することができる。

- ・リズムフレーズの最後を全員でそろえることができる。

## (2) 展 開

過程	学習内容・学習活動	指導上の留意点 ◎評価
導 入  10 分	<b>1 あいさつ</b> <b>2 リズムの復習をする</b> ・板書のリズムを見て手拍子をする。 <b>3 本時の課題をつかむ</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             曲の最後を全員でそろえよう！           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1 2 3のリズムで全員が揃うあいさつをする</li> <li>・リズムの復習が、後半の曲に生きるという見通しをもたせる。</li> </ul>
展 開  30 分	<b>4 グループに分かれて、練習する。</b> 1 グループ：教師と一緒に練習 S 模倣できるように教師がそばについて練習する F 自信を持って表現できるようにはげましの言葉をかける S 「まちがっても大丈夫」という安心感を持たせる 2 グループ：リーダーを中心に練習 R 最初の出だしを声で合図できるように。また「次は」「～してみよう」などの声がけをする H 本時の目標は何か確認することで集中できるようにする K 歌いながら練習することで気持ちを盛り上げる 3 グループ：リーダーを中心に練習 S 精神状態をみて個別に支援する F リズムを歌いながら練習する 4 グループ：教師と一緒に練習 T 健康状態・精神状態を配慮しながら個別に支援する T 自分本位に進まないように声をかける Y リズムを歌いながら練習する <b>5 パート毎に練習成果を発表する。</b> ・感じたことをすぐ口にしないように静かに聴かせる ・精神状態によって側について支援する <b>6 全員で合奏する。</b> 1 グループ：教師が側と一緒にリズムをとる 2 3 グループ：最後が揃うように聴きながら演奏する 4 グループ：教師が側と一緒にリズムをとる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「タン」「ウン」「タタ」と歌いながら声を合わせながら演奏できるように指導する</li> <li>・苦手な生徒には、教師が側にいて真似ながらリズムの感覚をつかむようにする。</li> </ul> <p>◎グループでまとまって練習することができているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い姿勢で、お互いの呼吸を感じて演奏するようにさせる。</li> <li>・必要に応じて、部分を抜き出して練習させる。</li> </ul> <p>◎リズムフレーズの最後をそろえることができているか。</p>
終 末  10 分	<b>7 自己評価をする。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返る (評価カードに記入する)</li> </ul>